

め る へ ん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

福祉へのご協力ありがとうございます



社会福祉関係者表彰状・感謝状受賞者

【表彰状】

○明るい高年者

- 穴井初子（十の釣）

- 園田壽榮子（昭和町6）

- 安部武子（長野下）

- 朝倉美智子（殿町）

- 熊谷マチ子（中塚脇）

- 志津里廣由（鳥屋）

- 山上誠治（錦町下）

- 西野英治（西の3）

- 竹下博文（今村新町）

- 麻生昭子（合町）

- 森本英男（鳥屋）

- 古後待子（御幸町）

- 成久勉（大隈）

- 轟和子（長野中）

- (敬称略)

- (敬称略)

2月25日(日)くすまちメルサンホールで『われら現役大会』が開催されました。その中で福祉関係表彰が行われ、次の方々が受賞されました。また、健康づくりリーダー表彰として7名(受賞者代表・瀧石孝夫様)、健康ウォーク歩数イベント表彰で3名(受賞者代表・坪井昌宏様)の方が町長より表彰を受けられました。

【感謝状】

○福祉事業協力者

- 轟和子（長野上）

- 古後待子（御幸町）

- 高倉貞哉（山中上）

- 古後菊代（学校区）

- (敬称略)

支え合いマップ講演会が開催されました

あなたは、
助けて～と言えますか？

平成30年2月6日（火）講師に住民流福祉総合研究所所長木原孝久氏を迎え、「住民流助け合い起こし」という演題で講演会が、北山田自治会館で開催されました。

当日は大雪の中、北山田地区自治委員を中心にコミュニティ役員・町内の民生委員・自治委員・老人クラブ役員等、60名もの参加がありました。

講演は、支え合いマップを作る寸劇を参加者の皆さんとの協力で行いはじめました。

続いて行われた木原先生の講演では、要介護になつても、住み慣れた家や地域で、安全かつ「その人らしく」豊かに生きていくように支援する、“あなたのあつき合いの流儀”は？のアンケートを皆さんに記入して頂きました。人に迷惑をかけないように生活する、誰かが認知症だと気づいても、誰にも言わないようにしている等10項目の内容でした。解説では「〇がついた人は支え合いが出来ないかも？」まずは自分から助けてと言えること、お節介になること、助け合いは助けられ上手になることが大切。そこで、自治区単位での支え合いマップを作ることで住民流の助け合いが見えてくるとともに、今ある助け合いを大切にすることに気付くことができる。助けられ上手は備え上手になっていく」とのことでした。

北山田地区は、29年度から自治委員と民生委員の協力で全自治区、支え合いマップの作成が始まっています。

～地域づくりのすすめ～

地域支え合い会議

介護保険の改正に伴い、介護予防日常生活支援事業がスタートし、高齢者の方々が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくように、住民一人ひとりが地域でできることを担い、支え合う地域づくりをすすめています。

29年度はこのような地域づくりをすすめるため「地域支え合い会議」を各4地区コミュニティの役員を中心、各3回開催しました。その地域に合った支え合いについて、地域の実情を考えながら、それぞれの立場から感じている現在の課題についてご意見をいただきました。共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくりについて、協議を重ねているところです。29年度は、高齢者の皆さんのがんばり多様な出番づくりや居場所づくりをすすめるための住民主体による通いの場が2ヶ所（森地区と八幡地区）、週1サロンが

1カ所（玖珠地区）立ち上がり、週1体操教室も現在5地区で取り組んでいます。今後も、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう地域の方々と定期的な協議と連携を深めながら、地域づくりをすすめています。



老人クラブ通信



毎年恒例、玖珠町老人クラブ主催のシルバー作品展が2月25日（日）～3月4日（日）まで8日間の日程で開催されました。

今年は玖珠町の協力があり、わかれ現役大会、町民の日イベントに合わせてメルサンホール・ホフエイに150点の作品を展示しました。近年老人クラブ会員の減少から、出品数も減つてきました。そこで作品数を増やすため、クラブ活動を知つて頂くために、単位老人クラブや町内60歳以上の方にも声掛けし募集しました。日頃の成果発表で力作ぞろいの中、99歳の最高齢の方の作品もありました。



サロン通信

地域のつながり応援事業に圈域別サロン交流会の全体会が1月25日（木）大分県教育会館で開催されました。玖珠町からも28・29年度に出来たサロンの代表者を中心に、4名の方が参加しました。

孤立ゼロ社会を目指して、サロン活動はとても大切

と県社協から趣旨説明がありました。その後、mott oひょうご事務局長の栗木剛氏による「地域が元気になる！」ふれあいきいきサロンの真の効果とは!?」の演題の講演を聴きました。お世話するのとても大変だが結果自分のためになる、相手に合う工夫をする、ゆつたり感が大切、細く長く無理せず続ける等、色々な極意をユーモアたっぷりに話して頂き、これらの方のサロン運営の参考になりました。



今回のキラッとさんは、昨年開催された玖珠町老人クラブ主催ゲートボール大会で最高齢長寿者賞を受賞した、八幡地区老人クラブ山下高寿会、田坂高次さんです。

4月で91歳になります。今でも軽トラの運転をし、畑仕事に勢を出しています。

その傍ら、ゲートボールを楽しみながら、2か所のいきいきサロンにも参加しています。

3年前には、サロンで行つたボーリングゲームが楽しくて、サロンの仲間と本物のボーリングにもチャレンジしたそうです。

「腰が曲がってなかなかだけど、毎日を楽しんでいる。」と話してくださいました。

目的があるということは、とても大切なことだと改めて感じさせられました。笑顔がとても素敵な田坂さんでした。これからもお元気で活動されるることを願っています。



今回のキラッとさん☆

ボランティア活動にがんばっている方、地域で元気に活動されている方、ご紹介していただけませんか？自薦他薦は問いません。いらっしゃる方がお待ちしております。

災害ボランティアセンター運営訓練

2月18日（日）玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会主催の「災害ボランティアセンター運営訓練」（以下災害ボラセン）を郡内39団体、約150名の参加で行いました。

「玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会」は、平成27年5月に郡内36団体（医療・建築等の専門職の方、コミュニティー協議会、民生児童委員協議会等地域団体の方）の参加によって設立しました。災害が発生した場合を想定し、日常から顔の見える関係づくりをすすめ、専門的な研修などを行い、緊急時に対応できる体制づくりをすることを目的としています。

災害ボラセンには泥だしや片付け、子どもの遊び相手、病院への送迎等色々な相談事が集まります。それらの困りごとを必要な機関に繋げることも一つの機能となります。また、ボラセンの中では、活動に必要な

資機材や車の調達、マスコミへの対応等刻々と変わる状況へ対応することが必要となります。これらの事の一部を皆さんに体験していただきながら、日常から地域で用意してあいたら良いことや、発災した時にできそうなことを考えていただきました。

参加者の皆さんから、「被災者の方から話を聞き取るのは難しいなあ」「道路が寸断されたらボランティアさんは、どうやって来てくれるんだろう」

「地域の学校とも話をしていた方がいいなあ」など、沢山の感想や意見がでした。これから地域減災活動へ繋がっていくことのできる貴重な体験となりました。

●ボランティア受付班



ボランティアに来られた方を新規・継続、保険の加入等確認してオリエンテーションを行っています。

●ニーズ・地域支援班



生活の困りごと、ボランティアにお願いしたいことなど聞き取り調査をしていきます。

●資機材班



派遣先にどんな資材がどのくらい必要か考えています。

●マッチング班



派遣先の状況を説明して、ボランティアを行ってくれる人を集めています。

●総務・総合調整班



マスコミ対応や他機関との連携など様々な問題について考えています。

介護保険のお話 ⑧



●今回は、皆さんからよく問い合わせのある**介護保険の申請から認定までの流れ**についてのお話です。



困ったなあ。足が痛くて思うように歩けない…

ひとりでお風呂に入るのが大変で困ってるんです

地域包括支援センターまたは福祉保健課に相談

申 請

お風呂はどんなふうに入りますか？

介護サービスの申請しましょう

認定調査

認定調査員が自宅を訪問し、心身の状態を調査します

判 定

調査や主治医意見書を基にどのくらい介護が必要か審査し認定します



認定の決定・通知

認定結果をお知らせします
ケアマネジヤとサービスの利用について話し合いをします

ひとりでお風呂に入れるよう、リハビリがんばります

詳しいことは **地域包括支援センター（72-7154）**
または **福祉保健課（72-1115）** にお問合せください

～まずはご相談ください～くらしと仕事の相談室

玖珠町社会福祉協議会では自立相談支援事業を行ってあります。

- ・病気になって働けなくなった。
- ・長い間働いていない。
- ・収入に比べて返済が多い。
- ・何年も引きこもりが続いている。など、お悩みがある方は一人で抱え込まずにまずはご相談ください。具体的な支援プランを作成し、課題の解決のお手伝いをいたします。

※対象となる方は、玖珠町在住で生活保護を受給していない方です。お気軽にご利用ください。

連絡先 玖珠町社会福祉協議会 自立相談支援 窓口担当 長 電話 72-5001

玖珠町ファミリーサポートセンターをご存じですか？

玖珠町ファミリーサポートセンターとは

子育てのお手伝いをしてもらいたい『よろしく会員』と子育てのお手伝いをしてくれる「まかせて会員」で構成している会員制の相互扶助組織です。安心して仕事ができる環境づくり、リフレッシュして育児に専念できる環境づくりをお手伝いします。

利用のしくみ



よろしく会員

『子育ての手助けをしてほしい方』

- ・玖珠町在住または勤務
- ・生後3ヶ月から小学校6年生までの子供がいる方

まかせて会員

『子育てのお手伝いをしたい方』

- ・指定の講習会を受講した子育て支援に深い関心のある方がお預かりします

※原則としてまかせて会員の自宅で預かります

お手伝いの 内 容

- ・こども園、幼稚園等への送迎
- ・こども園、幼稚園等の登園前のお世話
- ・こども園、幼稚園等からの帰宅後のお預かり
- ・仕事の都合や冠婚葬祭等、突然的な場合のお世話
- ・保護者の文化活動やリフレッシュ（気分転換）

など、詳しくはファミリーサポートセンターまでお問い合わせください。

利 用 料 金 (1時間当たり)

- | | |
|----------------------------|------|
| ①月曜日～金曜日(8:00～18:00) | 600円 |
| ②土・日・祝日、上記時間外 | 700円 |
- ・きょうだいで預ける場合は、二人目から料金が半額になります
 - ・ミルク・おやつ・食事代はよろしく会員の実費です
 - ・料金は「よろしく会員」が「まかせて会員」に直接支払います

*センターでは万一の事故に備え「会員傷害保険」「賠償責任保険」「児童傷害保険」の3種類の保険に加入しています。

お問合せ・お申し込み先 玖珠町ファミリーサポートセンター
事務局：玖珠町社会福祉協議会 (TEL 72-5513)

社会福祉協議会へ



(平成29年12月24日
～平成30年2月23日)

香典返し

田の口	湯浅田美子	様
山中上	高倉 貞哉	様
米山	佐々木義孝	様
山の口	高田 重喜	様
花香	梅木 勇穂	様
今村新町	福村 登	様
下泊里	秋好 里美	様
泊里	渡邊 敬明	様
上庄屋甲	魚返 福久	様
十五駄	川部 太一	様
古後	日隈 一巳	様
山浦早水	渡辺 康幸	様
長野下	田坂 力雄	様
栄町2	衛藤 正則	様
中の原	山崎 久子	様
小原	西野 健次	様
相の迫	安部 松平	様
中塚脇	飯田フミ香	様
内河野	秋吉 広行	様
専道		
横山		
穂積		
様		

遊びにきてよ！！ おもちゃ図書館へ

開いてる日:毎週土曜日



開いてる時間:10:00～16:00

開いてる場所:玖珠町老人福祉センター

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

治別当 佐藤 健一
中山田 吉原 久夫
平川上 森 昭
昭和町4 衛藤 昭
中島 麻生誠之助
朝見 安部信一郎
九重町野上 梅木 章
日田市三和 秋好 和典
生まられた日は〇（ゼロ）歳です。そして次の年の誕生日に一才になります。その後、歳をとるのはその方の誕生日ということになります。

満年齢

親戚や知人に不幸があつて、お悔やみに行くと、亡くなつた方の年齢の話になります。その際、『満年齢』と『数え年』がでできます。

数え年

実は、昔はこちらの方が一般的でした。生まられた日は一歳です。〇（ゼロ）という数の概念のなかつた頃には、当然のことでした。

そして、大晦日の日付が換わる午前〇時（元旦）に二歳になります。

この時刻には他の全ての方も揃つて歳をとることになるのです。大晦日が「年となりの日」とも呼ばれる所以（ゆえん）です。

前者の区切りが誕生日で、後者の区切りは元日です。

そして、数え年の方が満年齢よりも一歳～二歳多くなっています。

今の常識では、『数え年』は「不合理」だと思う方も多いようです。

確かに、十二月三十一日に生まられた方は、その日が一歳で、二十四時間たつていな夜中に二歳なつてしまふのですから。

でも、元旦にみんな揃つて歳をとるのもいいものですね。昔は生きていくのに精一杯で誕生日を祝うゆとりもなく、子沢山で生活に追われていて、こどもの誕生日を憶えていることも出来ない庶民には、この数え方の方が合理的だったのでしょう。

今は、日常生活では『満年齢』を使い、お葬式では、故人が一歳でも長く生きたと思えるよう、『数え年』を使うのが一般的です。

一期一会 「満年齢と数え年」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 石井由久雄

4月・5月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
4 / 1	2 ■老人福祉センター休館日	3 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	4 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	5 ■ふれあい福祉バス(小野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	7 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター休館日	10 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	11 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
15 ■給食サービス	16 ■老人福祉センター休館日	17 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	18 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約)(ともに老人福祉センター)	19 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	20 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	21 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
22	23 ■老人福祉センター休館日	24 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	28 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
29(昭和の日)	30(振替休日)	5 / 1 ■老人福祉センター休館日 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	2 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	3(憲法記念日) ■ふれあい福祉バス(小野原線)	4(みどりの日) ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	5(こどもの日) ■おもちゃ図書館(福祉センター)
6	7 ■老人福祉センター休館日	8 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	9 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	10 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	11 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	12 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
13	14 ■老人福祉センター休館日	15 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	17 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	18 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	19 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
20	21 ■老人福祉センター休館日	22 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	25 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	26 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
27	28 ■老人福祉センター休館日	29 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■障害年金無料相談会	30 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	31 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	6 / 1 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	2 ■おもちゃ図書館(福祉センター)

はないで
しょひつか。
ていぐので
につながつ
たひ、今後
「ぬづく」
いひがあつ
いひ、何かひとつでも
ちがやひなければならな
いひ、壇わんじ出来る
ちに出来ないひ、自分た
役になりきつての名演技
ア役の方は設定された
スタッフ役それぞれの役
に分かれて活動の手順を
体験しました。ボランテ
ラントニアセントア運営
訓練。ボランティア役、
でした。

この体験の中で自分た
役になりました。この体
験の中では自分た
ちがやひなければならな
いひ、壇わんじ出来る
ちに出来ないひ、自分た
ア役の方は設定された
スタッフ役それぞれの役
に分かれて活動の手順を
体験しました。ボランテ
ラントニアセントア運営
訓練。ボランティア役、
でした。

協力いただき誠にありがとうございました。
昨年は豪雨災害が多く、
被災地支援に職員が交代で入りました。そこで両
町合同で行われた災害ボ
ランティアセンター運営
訓練。ボランティア役、
でした。

いろいろな事業に取り組み、
町民の皆さまに参加ご
協力いただき誠にありがとうございました。
昨年は豪雨災害が多く、
被災地支援に職員が交代で入りました。そこで両
町合同で行われた災害ボ
ランティアセンター運営
訓練。ボランティア役、
でした。

編集後記

